

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、先週末公表された米雇用統計を受けて取引開始直後から対レアルでドル売りが優勢の展開となり、一時3.08台半ばまでドル安レアル高が進行した。米3月雇用統計は過去分の下方修正を考慮すると非常に弱い内容であったと評価でき、「6月利上げ」のシナリオは一層低下したと言える。また、ニューヨーク連銀のダドリー総裁も昨日の講演において、「今回の労働市場の軟化が現在想定しているよりも著しい減速を予兆するものかどうか、状況を注視する必要がある」と述べた他、「金融引締めは比較的低い軌道を進むものと想定される」と発言したこと、レアルを含む新興国通貨のサポート材料となっている。但し、緊縮財政策の方針を巡り、政府と議会の間に依然として距離があることから、引けにかけては反転し、3.12台半ばで取引を終えた。ボベスパ株式指数は前日比1.2%高。サウジアラビア国営会社の「サウジアラムコ」が、アジアの顧客向け原油価格を引き上げたことを要因として原油価格が大幅高となった。これを受け、ペトロプラスやCSNなどの資源関連株も上昇し、全体指数を押し上げた。

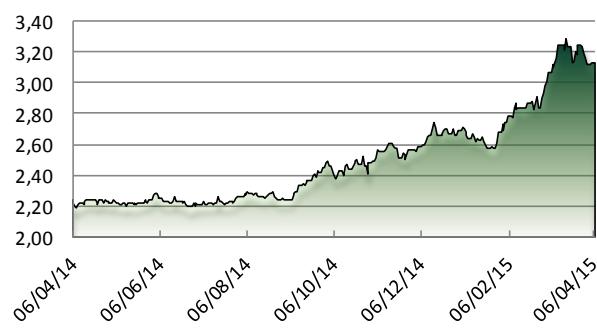
中銀が公表した週次サーベイによると、2015年末の成長率見通しは1.01%減と14週連続で悪化。また、インフレ率見通し(IPCA)も前回の8.13%から8.20%へ引き上げられており、ブラジル経済の先行きに対する市場参加者の見方は引き続き悲観的な内容に留まっている。足許では米利上げ先送り観測が拡大したことでレアル安の動きに一服感が出ているものの、トレンドの大きな転換は想定し難い。

マーケットデータ

Indicator	Unit	4月3日	4月6日	前日比	3月6日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	38,11	38,28	+0,17	39,45	-1,17
USD / BRL Spot	BRL	3,1229	3,1261	+0,0032	3,0640	+0,0621
USD / JPY Spot	JPY	118,97	119,54	+0,57	120,83	-1,29
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	53.123	53.737	+614	49.981	+3.756
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	264,6	259,9	-4,7	253,3	+6,6
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,83	12,80	-0,03	12,97	-0,17
DI Future Jul16 (金利先物)	%	13,34	13,31	-0,03	13,57	-0,26
3 Months US Dollar Libor	%	0,274	0,274	+0,000	0,265	+0,009
CRB Index (国際商品指数)	Index	216,1	220,0	+3,9	220,1	-0,1

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

